

平成25年度 農薬登録における作物グループ化検討試験明細書

(試験期間 25年7月 ～ 25年8月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型	①ベルメトリン(アディオン)乳剤	
	②ビフェントリン(テルスター)水和剤	
	③ピリダリル(ブレオ)フロアブル	
	④イミベンコナゾール(マネージ)DF	
	⑤テブフェンピラド(ピラニカ)EW	
	⑥スピロメシフェン(ダニグッター)フロアブル	
	⑦アラニカルブ(オリオン)水和剤40	
	⑧ベンチオピラド(アフェット)フロアブル	
	⑨マンジプロパミド(レーバス)フロアブル	
	⑩チオファネートメチル(トップジンM)水和剤	
	⑪シメコナゾール・マンゼブ(テーク)水和剤	
	⑫ジメトモルフ・塩基性塩化銅(フェスティバルC)水和剤	
	⑬メタラキシルM・TPN(フォリオゴールド)フロアブル	
	⑭ジノテフラン(スタークル)顆粒水溶剤	
	⑮フルフェノクスロン(カスケード)乳剤	

(2) 有効成分名及び成分含有率	①ベルメトリン	20%
	②ビフェントリン	2%
	③ピリダリル	10%
	④イミベンコナゾール	30%
	⑤テブフェンピラド	10%
	⑥スピロメシフェン	30%
	⑦アラニカルブ	40%
	⑧ベンチオピラド	20%
	⑨マンジプロパミド	23.3%
	⑩チオファネートメチル	70%
	⑪シメコナゾール 2.4%、マンゼブ65%	
	⑫ジメトモルフ 15%、塩基性塩化銅58.8%(銅35%)	
	⑬メタラキシルM 3.3%、TPN 32%	
	⑭ジノテフラン	20%
	⑮フルフェノクスロン	10%

(3) 被験物質のLot No.	①16.10-4J225F	②16.10 TBB003	③15.10 0AA487
	④15.10-HJ222	⑤14.10 SBF-01G	⑥PD13B00004
	⑦15.10 2I91	⑧15.10 2XY50003	⑨15.10 A3B05
	⑩16.10-HI228	⑪14.10 IYY40001	⑫16.10-HJ219
	⑬15.10. 2905	⑭15.10 12F50024	⑮17.10-NA328

2. 農作物名	すいか	品種名	ひとりじめ7
---------	-----	-----	--------

3. 試験実施機関名	一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所
------------	-----------------------

試験圃場所在地	茨城県牛久市結束町535番地
---------	----------------

4. 試験責任者氏名	森田久孝, 小林照二, 橋本龍治, 小川和己, 後藤直人, 宮川直也, 有波友紀
------------	--

5. 土性	砂土・砂壤土・ 壤土 ・埴壤土・埴土 (○を付す)	減水深	—	cm/日
-------	----------------------------------	-----	---	------

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)	別紙1.に記載
---	---------

7. 栽培概要	播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齡、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等 被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トマト栽培の被覆時期を記載す
---------	--

露地・施設の別	施設(処理区:ガラスハウス、無処理区:ビニールハウス)	有袋・無袋の別	—
---------	-----------------------------	---------	---

播種	平成25年5月8日、定植:6月7日
----	-------------------

栽植密度	畝間250cm、株間60cm、1条植え、3本仕立て (マルチ被覆)、約666株/10a
------	---

施肥(10a当たり):

処理区(ガラスハウス):平成25年4月11日堆肥 2000kg、4月9日配合 5 9 4 (5-9-4) 30kg・苦土重焼燐 25kg
--

無処理区(F棟):平成25年4月10日堆肥 2000kg、5月20日配合 5 9 4 (5-9-4) 20kg・苦土重焼燐 25kg
--

その他の管理は、慣行に従った。

収穫適期(適期):8月上旬～8月中旬

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

平成25年6月 7日 アトマイヤー1粒剤 2g/株 植穴土壌混和

6月13日 トリフシ水和剤 3000倍

6月19日 アファーム乳剤 1000倍

7月 3日 モレスタン水和剤 4000倍・ベストガード水溶剤 1000倍・粘着くん液剤 100倍
--

7月12日 モレスタン水和剤 4000倍・マイトコネフロアブル 1000倍

7月18日 スターマイトフロアブル 2000倍・スピノエース顆粒水和剤 5000倍

8月 2日 ベストガード水溶剤 1000倍・モレスタン水和剤 3000倍・粘着くん液剤 100倍
--

10. 試験区

(1)試験区の面積および(株)数

処理区A:49.5㎡(2.5m×6.6m×3畝) 33株、処理区B:49.5㎡(2.5m×6.6m×3畝) 33株

処理区C:36.0㎡(2.5m×4.8m×3畝) 24株、処理区D:27.0㎡(2.5m×3.6m×3畝) 18株

無処理区E:50.0㎡(2.5m×20m×1畝) 33株

(2)施設の場合、面積・容積・高さ

処理区A,B,C,D 面積:874㎡、高さ:4.5m

無処理区E 面積:198㎡、高さ4m

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育	処理方法（概略）
							10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した 農薬量/薬液量	ステージ	
H25年7月15日	アディオオン				無処理	2000倍	240L	5.95ml/11.9L/49.5㎡	7.0ml/14L	果実肥大期 （草丈約30cm）	茎 葉 散 布
7月22日	アディオオン					2000倍	240L	5.95ml/11.9L/49.5㎡	7.0ml/14L	果実肥大期 （草丈約30cm）	茎葉散布（混用）
	テルスター					1000倍		11.9g/11.9L/49.5㎡	14.0g/14L		
	マネージ					2000倍		5.95g/11.9L/49.5㎡	7.0g/14L		
7月29日	アディオオン					2000倍	267L	6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.0ml/14L	果実肥大期 （草丈約30cm）	茎葉散布（混用）
	テルスター					1000倍		13.2g/13.2L/49.5㎡	14.0g/14L		
	マネージ					2000倍		6.6g/13.2L/49.5㎡	7.0g/14L		
8月 5日	アディオオン					2000倍	267L	6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.0ml/14L	果実成熟期 （草丈約30cm）	茎葉散布（混用）
	テルスター					1000倍		13.2g/13.2L/49.5㎡	14.0g/14L		
	プレオ					1000倍		13.2ml/13.2L/49.5㎡	14.0ml/14L		
	マネージ					2000倍		6.6g/13.2L/49.5㎡	7.0g/14L		
8月12日	アディオオン					2000倍	267L	6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.0ml/14L	果実成熟期 （草丈約30cm）	茎葉散布（混用）
	テルスター					1000倍		13.2g/13.2L/49.5㎡	14.0g/14L		
	プレオ					1000倍		13.2ml/13.2L/49.5㎡	14.0ml/14L		
	マネージ					2000倍		6.6g/13.2L/49.5㎡	7.0g/14L		
	ピラニカ					2000倍		6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.0ml/14L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
				特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年7月15日	散布機器：背負式バッテリー動噴（丸山 MSB151） ノズル ：1頭口コーンノズル（丸山 狭角コーン） 噴霧粒径：微細 散布方法：各回作成した薬液全てを散布機に入れ、1株分の面積を2分割（0.6m×1.25m）して試験区全体を分割し、各分割を一定の秒数で均一に散布した。			時刻 11：50 ～ 12：10	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月22日				時刻 15：40 ～ 16：00	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。
7月29日				時刻 16：00 ～ 16：24	天候：雨（日中雨）、風の影響なし。
8月 5日				時刻 16：45 ～ 17：09	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
8月12日				時刻 16：20 ～ 16：44	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

(H25グループ化:すいか)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した 農薬量/薬液量		
H25年7月15日		オリオン			無処理	1000倍	240L	11.9g/11.9L/49.5㎡	15.0g/15L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
		トップジン				1500倍		7.93g/11.9L/49.5㎡	10.0g/15L		
7月22日		オリオン				1000倍	240L	11.9g/11.9L/49.5㎡	15.0g/15L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
		トップジン				1500倍		7.93g/11.9L/49.5㎡	10.0g/15L		
7月29日		オリオン				1000倍	267L	13.2g/13.2L/19.5㎡	15.0g/15L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
		アフェット				2000倍		6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L		
		トップジン				1500倍		8.8g/13.2L/49.5㎡	10.0g/15L		
8月 5日		ダニゲッター				2000倍	267L	6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L	果実成熟期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
		オリオン				1000倍		13.2g/13.2L/49.5㎡	15.0g/15L		
		アフェット				2000倍		6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L		
		レーバス				2000倍		6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L		
		トップジン				1500倍		8.8g/13.2L/49.5㎡	10.0g/15L		
8月12日		ダニゲッター				2000倍	267L	6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L	果実成熟期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
		オリオン				1000倍		13.2g/13.2L/49.5㎡	15.0g/15L		
		アフェット				2000倍		6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L		
		レーバス				2000倍		6.6ml/13.2L/49.5㎡	7.5ml/15L		
		トップジン				1500倍		8.8g/13.2L/49.5㎡	10.0g/15L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
				特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年7月15日	散布機器：背負式バッテリー動噴（丸山 MSB151） ノズル：1頭口コーンノズル（丸山 狭角コーン） 噴霧粒径：微細 散布方法：各回作成した薬液全てを散布機に入れ、1株分の面積を2分割（0.6m×1.25m）して試験区全体を分割し、各分割を一定の秒数で均一に散布した。			時刻 11：10 ～ 11：30	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月22日				時刻 16：30 ～ 16：50	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。
7月29日				時刻 14：30 ～ 14：54	天候：雨（日中雨）、風の影響なし。
8月 5日				時刻 17：00 ～ 17：24	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
8月12日				時刻 16：50 ～ 17：14	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考

(H25グループ化:すいか)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した 農薬量/薬液量		
H25年7月 8日			テーク		無処理	600倍	203L	12. 1g/7. 3L/36. 0㎡	15. 0g/9L	開花～結実期 (草丈約10cm)	茎 葉 散 布
7月15日			テーク			600倍	239L	14. 3g/8. 6L/36. 0㎡	16. 0g/9. 6L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
			カスケード			2000倍		4. 3ml/8. 6L/36. 0㎡	4. 8ml/9. 6L		
7月22日			テーク			600倍	239L	14. 3g/8. 6L/36. 0㎡	16. 0g/9. 6L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
			フェスティバル			1000倍		8. 6g/8. 6L/36. 0㎡	9. 6g/9. 6L		
			フォリオ			800倍		10. 75ml/8. 6L/36. 0㎡	12. 0ml/9. 6L		
			カスケード			2000倍		4. 3ml/8. 6L/36. 0㎡	4. 8ml/9. 6L		
7月29日			テーク			600倍	267L	16. 0g/9. 6L/36. 0㎡	20. 0g/12. 0L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
			フェスティバル			1000倍		9. 6g/9. 6L/36. 0㎡	12. 0g/12. 0L		
			フォリオ			800倍		12. 0ml/9. 6L/36. 0㎡	15. 0ml/12. 0L		
			スタークル			2000倍		4. 8g/9. 6L/36. 0㎡	6. 0g/12. 0L		
			カスケード			2000倍		4. 8ml/9. 6L/36. 0㎡	6. 0ml/12. 0L		
8月 5日			テーク			600倍	267L	16. 0g/9. 6L/36. 0㎡	20. 0g/12. 0L	果実成熟期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
			フェスティバル			1000倍		9. 6g/9. 6L/36. 0㎡	12. 0g/12. 0L		
			フォリオ			800倍		12. 0ml/9. 6L/36. 0㎡	15. 0ml/12. 0L		
			スタークル			2000倍		4. 8g/9. 6L/36. 0㎡	6. 0g/12. 0L		
			カスケード			2000倍		4. 8ml/9. 6L/36. 0㎡	6. 0ml/12. 0L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年7月 8日	散布機器：背負式バッテリー動噴（丸山 MSB151） ノズル ：1頭口コーンノズル（丸山 狭角コーン） 噴霧粒径：微細 散布方法：各回作成した薬液全てを散布機に入れ、1株分の面積を2分割（0. 6m×1. 25m）して試験区全体を分割し、各分割を一定の秒数で均一に散布した。	時刻 16：20 ～ 16：33	天候：曇り（日中晴れのち曇り）、風の影響なし。
7月15日		時刻 11：45 ～ 12：00	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月22日		時刻 11：40 ～ 11：55	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。
7月29日		時刻 10：50 ～ 11：07	天候：雨（日中雨）、風の影響なし。
8月 5日		時刻 16：30 ～ 16：47	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

- （1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- （2）備考

試験薬剤の散布時には、処理区Dへの薬液の飛散を防止するため、区界を高さ約1. 8mまでポリフィルムで遮蔽した。

(H25グループ化:すいか)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した 農薬量/薬液量		
H25年7月 1日				テーク	無処理	600倍	204L	9.16g/5.5L/27.0㎡	10.0g/6.0L	開花始め (草丈約10cm)	茎 葉 散 布
7月 8日				テーク		600倍	204L	9.16g/5.5L/27.0㎡	10.0g/6.0L	開花～結実期 (草丈約10cm)	茎葉散布（混用）
				カスケード		2000倍		2.75ml/5.5L/27.0㎡	3.0ml/6.0L		
7月15日				テーク		600倍	241L	10.8g/6.5L/27.0㎡	16.0g/9.6L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
				フェスティバル		1000倍		6.5g/6.5L/27.0㎡	9.6g/9.6L		
				フォリオ		800倍		8.12ml/6.5L/27.0㎡	12.0ml/9.6L		
				カスケード		2000倍		3.25ml/6.5L/27.0㎡	4.8ml/9.6L		
7月22日				テーク		600倍	241L	10.8g/6.5L/27.0㎡	16.0g/9.6L	果実肥大期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
				フェスティバル		1000倍		6.5g/6.5L/27.0㎡	9.6g/9.6L		
				フォリオ		800倍		8.13ml/6.5L/27.0㎡	12.0ml/9.6L		
				スタークル		2000倍		3.25g/6.5L/27.0㎡	4.8g/9.6L		
				カスケード		2000倍		3.25ml/6.5L/27.0㎡	4.8ml/9.6L		
7月29日				テーク		600倍	266L	12.0g/7.2L/27.0㎡	16.0g/9.6L	果実成熟期 (草丈約30cm)	茎葉散布（混用）
				フェスティバル		1000倍		7.2g/7.2L/27.0㎡	9.6g/9.6L		
				フォリオ		800倍		9.0ml/7.2L/27.0㎡	12.0ml/9.6L		
				スタークル		2000倍		3.6g/7.2L/27.0㎡	4.8g/9.6L		
				カスケード		2000倍		3.6ml/7.2L/27.0㎡	4.8ml/9.6L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
				特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H24年7月 1日	散布機器：背負式バッテリー動噴（丸山 MSB151） ノズル ：1頭口コーンノズル（丸山 狭角コーン） 噴霧粒径：微細 散布方法：各回作成した薬液全てを散布機に入れ、1株分の面積を2分割（0.6m×1.25m）して試験区全体を分割し、各分割を一定の秒数で均一に散布した。			時刻 15：20 ～ 15：30	天候：曇り（日中晴れのち曇り）、風の影響なし。
7月 8日				時刻 16：40 ～ 16：50	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月15日				時刻 12：05 ～ 12：17	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。
7月22日				時刻 11：50 ～ 12：02	天候：晴れ（日中雨）、風の影響なし。
7月29日				時刻 11：15 ～ 11：28	天候：雨（日中晴れ）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、処理区Cへの薬液の飛散を防止するため、区界を高き約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
2012年8月 8日					E			E区 時刻：11:10 ～ 11:15 天候：晴れ	E	E : 10個／17.4 kg	8月 8日
8月12日			C－1					C区 時刻：9:05 ～ 9:10 天候：晴れ	C	C－1 : 5個／10.3 kg	8月12日
8月13日	A－1	B－1						A区 時刻：9:10 ～ 9:15 天候：晴れ B区 時刻：9:20 ～ 9:25 天候：晴れ	A→B	A－1 : 5個／10.4 kg B－1 : 5個／9.9 kg	8月13日
8月15日	A－2	B－2						A区 時刻：8:30 ～ 8:35 天候：晴れ B区 時刻：8:40 ～ 8:45 天候：晴れ	A→B	A－2 : 5個／11.7 kg B－2 : 5個／11.5 kg	8月15日
8月19日	A－3	B－3	C－2	D				A区 時刻：9:35 ～ 9:40 天候：晴れ B区 時刻：9:25 ～ 9:30 天候：晴れ C区 時刻：9:05 ～ 9:10 天候：晴れ D区 時刻：9:00 ～ 9:05 天候：晴れ	D→C→B→A	A－3 : 5個／11.9 kg B－3 : 5個／12.0 kg C－2 : 5個／11.5 kg D : 5個／10.5 kg	8月19日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
8月 8日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
8月12日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
8月13日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
8月15日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
8月19日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因

（1）試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

試験区の境界部（南北）を除いた全体から、大きさの揃った試料を鉋を用いて採取し、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた。

（2）採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・粗すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、1個ずつ包装紙に包んでポリ袋に入れ、ポリエチレン製のクッションを巻き付けて破損防止を行った。それを試料番号毎に段ボール箱に入れ、裁断した紙を詰めて動かないようにして箱の内側に試験区ラベル、外側に梱シールを貼り付けて梱包した。

（3）試料送付先

分析機関： 株式会社化学分析コンサルタント

（4）試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日に指定して送付した。

（5）備考

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所： 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件： 気温:平均気温(1 時間毎)

(25年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	施設内気温(℃)	25.4	25.5	23.8	25.5	26.4	28.9	31.7	31.1	31.5	31.5	32.3	30.5	29.2	30.2	27.7	25.9	23.3	28.8	24.9	23.7	23.9	27.1	27.7	23.9	26.7	28.3	27.4	28.7	25.1	28.2	26.9
8	施設内気温(℃)	26.5	25.3	28.6	28.7	30.8	28.5	30.1	30.3	30.7	32.2	31.4	30.5	30.2	30.2	29.9	30.3	29.9	30.3	30.8												

別紙1. 過去 1 年間に作付けした作物および使用した農薬

ガラスハウス：処理区

まくわうり： 平成24年 7月2日, 9日

無栽培： 平成24年 8月 2日

すいか： 9月10日
 9月24日
 10月 3日
 10月11日
 10月15日, 22日, 29日, 11月5日, 11日
 10月19日
 10月22日, 29日, 11月5日, 11日
 10月29日, 11月5日, 11日
 11月5日, 11日
 11月11日

無栽培： 平成25年 3月 7日

F棟：無処理区

レタス： 平成24年11月 1日
 11月27日
 12月18日

モスビラン水溶剤4000倍

ソイリン 25L/10a 全面土壌点注処理

アフェットフロアブル 2000倍・タニコール1000 1000倍・アファーム乳剤 2000倍
 スピノエース顆粒水和剤 5000倍・ゴッツA 500倍・サンマイフロアブル 1000倍
 アトマイヤー水和剤 2000倍・ゴッツA 500倍・コロマイ乳剤 1000倍・アファーム乳剤 2000倍
 ゴッツA 500倍・ベストガード水溶剤 1000倍・モレスタン水和剤 3000倍
 スプラサイト水和剤 1000倍
 ベストガード水溶剤 1000倍・サンマイ 1000倍
 ロフラル水和剤 1000倍
 アクタラ顆粒水和剤 2000倍
 ウララDF 2000倍・ハチハチ乳剤 1000倍
 カネマイフロアブル 1000倍

ソイリン 30L/10a 全面土壌点注処理

フレバソフロアブル5 2000倍・ベストガード水溶剤 2000倍・タニコール1000 1000倍
 ロフラル水和剤 1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤 10000倍・タニコール1000 1000倍
 ロフラル水和剤 1500倍・タニコール1000 1000倍・アグリマイシン100 2000倍

別紙2. 試験状況

写真1. 試験ハウス全景（中央：処理区、右：無処理区）



写真2. 薬剤処理区全景



写真3. 飛散防止用遮蔽幕



写真4. A区散布状況



写真5. A区1回目散布時の果実



写真6. A区2回目散布時の果実

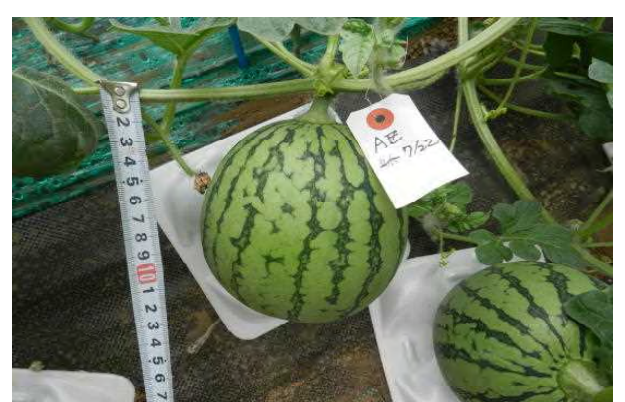


写真7. A区3回目散布時の果実



写真8. A区4回目散布時の果実



写真9. A区5回目散布時の果実



写真10. B区散布状況



写真11. B区1回目散布時の果実



写真12. B区2回目散布時の果実



写真13. B区3回目散布時の果実



写真14. B区4回目散布時の果実



写真15. B区5回目散布時の果実



写真 1 6 . C 区 散 布 状 況



写真 1 7 . C 区 1 回 目 散 布 時 の 繁 茂 状 況



写真 1 8 . C 区 1 回 目 散 布 時 の 状 況 （ 開 花 期 ）



写真 1 9 . C 区 2 回 目 散 布 時 の 果 実



写真 2 0 . C 区 3 回 目 散 布 時 の 果 実



写真 2 1 . C 区 4 回 目 散 布 時 の 果 実



写真 2 2 . C 区 5 回 目 散 布 時 の 果 実



写真23. D区散布状況



写真24. D区1回目散布時の繁茂状況



写真25. D区1回目散布時の状況（開花期）



写真26. D区2回目散布時の果実



写真27. D区3回目散布時の果実



写真28. D区4回目散布時の果実



写真29. D区4回目散布時の果実



写真30. 7月1日の繁茂状況



写真31. 7月8日の繁茂状況



写真32. 7月15日の繁茂状況



写真33. 7月22日の繁茂状況



写真34. 8月5日の繁茂状況（果実の被覆状況）



写真35. 8月12日の繁茂状況



写真36. 8月12日の繁茂状況（果実の被覆）



写真 3 7. 採取状況 1



写真 3 8. 採取状況 2

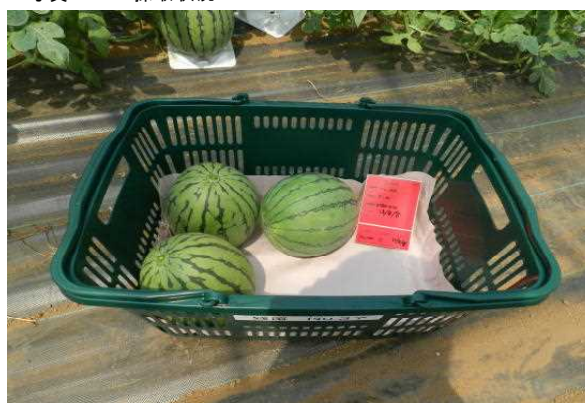


写真 3 9. 無処理区の果実



写真 4 0. A 区 1 日後の果実



写真 4 1. A 区 3 日後の果実



写真 4 2. A 区 7 日後の果実

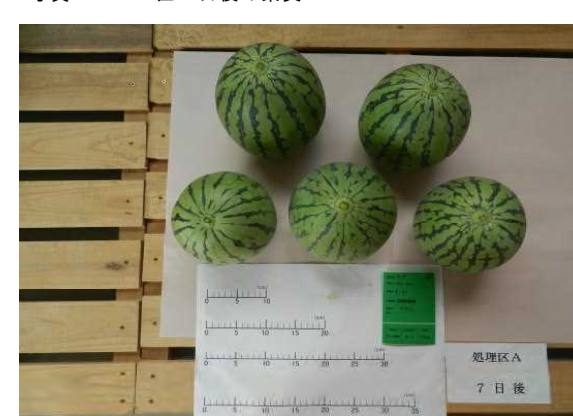


写真 4 3. B 区 1 日後の果実



写真 4 4. B 区 3 日後の果実



写真 4 5. B 区 7 日後の果実



写真 4 6 . C 区 7 日 後 の 果 実



写真 4 7 . C 区 1 4 日 後 の 果 実



写真 4 8 . D 区 2 1 日 後 の 果 実



写真 4 9 . 梱 包 状 況 1



写真 5 0 . 梱 包 状 況 2

